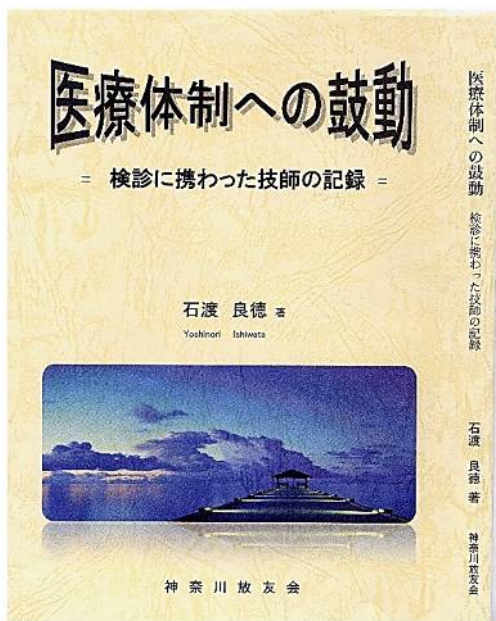


# 「医療体制への鼓動」

－検診に携わった技師の記録－

## 胃がん検診に携わった放射線技師の姿勢と情熱を綴る



著 者：石渡良徳

診療放射線技師

元神奈川県労働衛生福祉協会技師長

A5版：278頁

### 【概要】

- 胃がん検診に携わってきた40数年の足跡を、神奈川県労働衛生福祉協会を舞台に自分史として物語風に書き下ろした。
- 窪田博吉先生や市川平三郎国立がんセンター名誉院長等、多くの人たちに接して援助を頂くのに成功したエピソードなど、人のつながりにひたすらな努力と姿勢を注いだ情熱を垣間見ることが出来る。
- 胃がん検診に携わっている放射線技師の技術格差をなくそうとする「胃がん検診専門技師認定制度」の誕生までの秘話を紹介している。
- 胃がん検診専門技師が「がん対策基本法」に盛り込まれるまでの経緯をリアルにまとめ挙げている。

### 【主な目次】

第1章 医療の世界へ	第5章 胃がん検診	第9章 胃がん検診のあゆみ
第2章 飛躍への道	第6章 日本消化器がん検診学会	第10章 胃X線検査以外の
第3章 医療体制への響き	第7章 胃がん検診専門技師認定制度	スクリーニング法
第4章 運営と精度管理	第8章 がん対策基本法と胃がん検診	第11章 私の一期一会

苦難の道を多くの人に支えられながら「検診医療を支える者」として、検診の精度管理に真剣に取り組んできた放射線技師の姿勢と情熱がありました。

日本消化器がん検診学会認定の「胃がん検診専門技師」の誕生と、それが「がん対策基本法」に明記されるに至るまでの道程を、放射線検診業務に捧げた放射線技師が「検診の精度管理」等を主眼に、検診学会等で改善に取り組んだ記録をまとめ上げたものです。